

区民ワークショップ実施報告

4 城東南部地区

第1回：自分たちのまちの魅力と課題を考えよう

第2回：自分たちのまちの「こうしたい」を考えよう

第3回：自分のまちのプロジェクトをまとめよう

■第1回 自分たちのまちの魅力と課題を考えよう

■城東南部地区

・小・大木川（遊歩道）
・横十間川親水公園
・仙台塩川公園
居民が親める自然環境。大規模な公共空間、オープンスペースの存在

大規模住宅のストック（活用次第で魅力にもなるが、設備更新が課題）

・アリオ北砂
・砂町銀座商店街
・仙気稲荷通り
・元八幡通り 等
・インスタイル 南砂
日常生活に便利な商業施設が近接し、購買環境は抜群（ショッピングモールや地域密着商店街の存在）

木造密集市街地対策（道路拡幅・建物の不燃化促進・オープンスペース確保等）
水害時の避難対策（安全な避難場所の確保・避難訓練等）

砂町銀座商店街等の地域密着型商店街での滞留できる空間の確保、魅力づけ、及び 情報発信の強化。

■広範囲

水害地域
荒川氾濫時、最大2週間の水害期間で、一時避難先からの移動が困難であり、避難所滞滞の在り方について指針が必要状況だが、その指針は示されていない。また避難難店時に推奨される広域避難についても、災害時の広域への移動手段の確保や、広域避難先の道庁方法など解決するべき課題が多い。水害の被害対策と併せて、高台まちづくりを含めた都市計画の観点からまちづくりを図っていく必要がある

社会的課題は人口減少

各所で地盤沈下の影響が今も出ている
→一部斜路になっており、若者の通行などでも問題となっている部分があります。具体的には最近住民の高齢化が進んでいる団地で見られます

何と行っても南北間の交通がバスや自転車以外に無い点です
→
地下鉄の計画などもあります。以前に区長が語っていたロープウェイ構想なども予算や用地など問題がなければ継続して計画するのよいと考えます

区内は自転車での移動が便利です。河川の両岸にある道などが多くにとら自転車を通して安全に通行できる時間道路を整備することにより、歩行者の衝突事故なども減せると考えます

魅力 課題

・黒字：事前意見・赤字：当日意見

水彩都市

水辺と緑
健康（公園、河川など）

■第一回ワークショップ（オンライン会議）

自分たちのまちの魅力と課題を考えよう！ 城市部（大島）・南部地区 意見発表（再掲）

小名川川

小名川大島自動車通れない。都の管理だが、柳を植えたい

小名川大島、橋十間川周辺は自動車でも一回りも水辺に親まれ、もたない一歩してはどうか

橋十間川

水辺、特に小名川川など航行できるようにしている。過去に民間企業と東大島交流センターなど共同で実施したい（実地したい）が航路を船着き場などの制限もあり検討が必要

江東区にお客呼び込むために＝リバーツアーの復活、水辺の魅力の見直し。小名川川の間画の建物への投影など

河川一般

外周を開く河川一帯；いろいろな河川も観水空間が整備されていそう。あそびで、くわやヤサバグなどのアプゼイブに触れながら、防災船舶着き場も整備されるなど、河川利用が多様な形で展開

橋の周辺などバリアフリー化は課題

防火・更新

地震・火災・水害リスク、設備更新など

団地一般

大規模公営住宅ストック（活用次第で魅力になるが、設備更新が課題）

団地内周辺の広場や道路などの地盤沈下の影響：一部資料になっている。弱者の通行などでも問題となっている。最近住民の高齢化が進んでいる団地内の広場や道路でのような現象が各所で見られる

砂町エリア

マンションが広がりバリアクサスペースが欲しい

河川

荒川周辺を含む広域

水害地域：荒川の氾濫時、避難所運営の面の方針について指針が必要／避難指示発令に推奨される広域避難についても、災害時の広域への移住手段の確保や、緊急避難先の確保方式など解決すべき課題がある。水害の災害対応に併せて、高台まちづくりを含めた都市計画の観点が必要

学校が避難場所⇒水没した場合の対応

荒川が氾濫するよる大規模災害等についても考えようが必要。避難訓練等、どこに逃げられるか

水辺密集地

水辺密集地：細かな道路が多く、特に水辺密集地域である大島7丁目地区は防災の観点から、緊急避難経路の整備が望まれる

水辺密集地市街地対策（道路拡張、建物の不燃化促進、歩・オートスペース確保等）

水害時の避難対策

水密、組指図課題

大島3丁目、7丁目、8丁目

魅力 課題

黒字：事前意見・赤字：当日意見

場所名 大島地区 **場所名** 砂町地区 **場所名** 大島砂町共通

小名川川

小名川大島自動車通れない。都の管理だが、柳を植えたい

小名川大島、橋十間川周辺は自動車でも一回りも水辺に親まれ、もたない一歩してはどうか

橋十間川

水辺、特に小名川川など航行できるようにしている。過去に民間企業と東大島交流センターなど共同で実施したい（実地したい）が航路を船着き場などの制限もあり検討が必要

江東区にお客呼び込むために＝リバーツアーの復活、水辺の魅力の見直し。小名川川の間画の建物への投影など

河川一般

外周を開く河川一帯；いろいろな河川も観水空間が整備されていそう。あそびで、くわやヤサバグなどのアプゼイブに触れながら、防災船舶着き場も整備されるなど、河川利用が多様な形で展開

橋の周辺などバリアフリー化は課題

防火・更新

地震・火災・水害リスク、設備更新など

団地一般

大規模公営住宅ストック（活用次第で魅力になるが、設備更新が課題）

団地内周辺の広場や道路などの地盤沈下の影響：一部資料になっている。弱者の通行などでも問題となっている。最近住民の高齢化が進んでいる団地内の広場や道路でのような現象が各所で見られる

砂町エリア

マンションが広がりバリアクサスペースが欲しい

河川

荒川周辺を含む広域

水害地域：荒川の氾濫時、避難所運営の面の方針について指針が必要／避難指示発令に推奨される広域避難についても、災害時の広域への移住手段の確保や、緊急避難先の確保方式など解決すべき課題がある。水害の災害対応に併せて、高台まちづくりを含めた都市計画の観点が必要

学校が避難場所⇒水没した場合の対応

荒川が氾濫するよる大規模災害等についても考えようが必要。避難訓練等、どこに逃げられるか

水辺密集地

水辺密集地：細かな道路が多く、特に水辺密集地域である大島7丁目地区は防災の観点から、緊急避難経路の整備が望まれる

水辺密集地市街地対策（道路拡張、建物の不燃化促進、歩・オートスペース確保等）

水害時の避難対策

水密、組指図課題

大島3丁目、7丁目、8丁目

魅力 課題

黒字：事前意見・赤字：当日意見

場所名 大島地区 **場所名** 砂町地区 **場所名** 大島砂町共通

小名川川

小名川大島自動車通れない。都の管理だが、柳を植えたい

小名川大島、橋十間川周辺は自動車でも一回りも水辺に親まれ、もたない一歩してはどうか

橋十間川

水辺、特に小名川川など航行できるようにしている。過去に民間企業と東大島交流センターなど共同で実施したい（実地したい）が航路を船着き場などの制限もあり検討が必要

江東区にお客呼び込むために＝リバーツアーの復活、水辺の魅力の見直し。小名川川の間画の建物への投影など

河川一般

外周を開く河川一帯；いろいろな河川も観水空間が整備されていそう。あそびで、くわやヤサバグなどのアプゼイブに触れながら、防災船舶着き場も整備されるなど、河川利用が多様な形で展開

橋の周辺などバリアフリー化は課題

防火・更新

地震・火災・水害リスク、設備更新など

団地一般

大規模公営住宅ストック（活用次第で魅力になるが、設備更新が課題）

団地内周辺の広場や道路などの地盤沈下の影響：一部資料になっている。弱者の通行などでも問題となっている。最近住民の高齢化が進んでいる団地内の広場や道路でのような現象が各所で見られる

砂町エリア

マンションが広がりバリアクサスペースが欲しい

河川

荒川周辺を含む広域

水害地域：荒川の氾濫時、避難所運営の面の方針について指針が必要／避難指示発令に推奨される広域避難についても、災害時の広域への移住手段の確保や、緊急避難先の確保方式など解決すべき課題がある。水害の災害対応に併せて、高台まちづくりを含めた都市計画の観点が必要

学校が避難場所⇒水没した場合の対応

荒川が氾濫するよる大規模災害等についても考えようが必要。避難訓練等、どこに逃げられるか

水辺密集地

水辺密集地：細かな道路が多く、特に水辺密集地域である大島7丁目地区は防災の観点から、緊急避難経路の整備が望まれる

水辺密集地市街地対策（道路拡張、建物の不燃化促進、歩・オートスペース確保等）

水害時の避難対策

水密、組指図課題

大島3丁目、7丁目、8丁目

魅力 課題

黒字：事前意見・赤字：当日意見

場所名 大島地区 **場所名** 砂町地区 **場所名** 大島砂町共通

小名川川

小名川大島自動車通れない。都の管理だが、柳を植えたい

小名川大島、橋十間川周辺は自動車でも一回りも水辺に親まれ、もたない一歩してはどうか

橋十間川

水辺、特に小名川川など航行できるようにしている。過去に民間企業と東大島交流センターなど共同で実施したい（実地したい）が航路を船着き場などの制限もあり検討が必要

江東区にお客呼び込むために＝リバーツアーの復活、水辺の魅力の見直し。小名川川の間画の建物への投影など

河川一般

外周を開く河川一帯；いろいろな河川も観水空間が整備されていそう。あそびで、くわやヤサバグなどのアプゼイブに触れながら、防災船舶着き場も整備されるなど、河川利用が多様な形で展開

橋の周辺などバリアフリー化は課題

防火・更新

地震・火災・水害リスク、設備更新など

団地一般

大規模公営住宅ストック（活用次第で魅力になるが、設備更新が課題）

団地内周辺の広場や道路などの地盤沈下の影響：一部資料になっている。弱者の通行などでも問題となっている。最近住民の高齢化が進んでいる団地内の広場や道路でのような現象が各所で見られる

砂町エリア

マンションが広がりバリアクサスペースが欲しい

河川

荒川周辺を含む広域

水害地域：荒川の氾濫時、避難所運営の面の方針について指針が必要／避難指示発令に推奨される広域避難についても、災害時の広域への移住手段の確保や、緊急避難先の確保方式など解決すべき課題がある。水害の災害対応に併せて、高台まちづくりを含めた都市計画の観点が必要

学校が避難場所⇒水没した場合の対応

荒川が氾濫するよる大規模災害等についても考えようが必要。避難訓練等、どこに逃げられるか

水辺密集地

水辺密集地：細かな道路が多く、特に水辺密集地域である大島7丁目地区は防災の観点から、緊急避難経路の整備が望まれる

水辺密集地市街地対策（道路拡張、建物の不燃化促進、歩・オートスペース確保等）

水害時の避難対策

水密、組指図課題

大島3丁目、7丁目、8丁目

魅力 課題

黒字：事前意見・赤字：当日意見

場所名 大島地区 **場所名** 砂町地区 **場所名** 大島砂町共通

小名川川

小名川大島自動車通れない。都の管理だが、柳を植えたい

小名川大島、橋十間川周辺は自動車でも一回りも水辺に親まれ、もたない一歩してはどうか

橋十間川

水辺、特に小名川川など航行できるようにしている。過去に民間企業と東大島交流センターなど共同で実施したい（実地したい）が航路を船着き場などの制限もあり検討が必要

江東区にお客呼び込むために＝リバーツアーの復活、水辺の魅力の見直し。小名川川の間画の建物への投影など

河川一般

外周を開く河川一帯；いろいろな河川も観水空間が整備されていそう。あそびで、くわやヤサバグなどのアプゼイブに触れながら、防災船舶着き場も整備されるなど、河川利用が多様な形で展開

橋の周辺などバリアフリー化は課題

賑わい・交流

■第1回ワークショップ（オンライン会議） 「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 城東北部（大島）+南部地区（再掲）

西大島駅・大島駅・東大島駅周辺

都宮新斎場3JRなど（都心へのアクセシビリティの良さ）

駅前空間：まちの居場所空間が中心部に乏しい印象

駅前であまりなご留滞する空間がない。まちの居場所空間が中心部に乏しい。

駅前の賑わい、滞留空間やカワが広がるよい

大島中央銀座商店街

活気のある商店街

→組織的にまち/商店街は区内の商店街の中でも活動的/様々なおこすててます

ここまて活気のある商店街は中々ない。今後が魅力が感じにくために？ まちづくりのディメンシャル化の中での議論は南北の軸、周辺との連携

商店街の高齢化。砂町は補助金もあるが、中の横も商店街の道並みか崩れているところもある

砂町銀座商店街

砂町銀座商店街はテナント料が高く、若い人が入りにくい。行政の支援も必要ではなか

砂町銀座商店街等の地域密着型商店街での留滞できる空間の確保、魅力づくり、情報発信の強化

ショップモールや地域、密着型商店街の存在：アリオ北砂、砂町銀座商店街、気仙橋通りより八幡通り、インスタビル 南砂など

気仙橋通りより八幡通り、大規模商業施設

大島4、6丁目印地

URの大規模印地、大島4、6丁目印地、北砂5丁目印地。外国人居住者との交流をよく図っていく。地域の特徴

北砂5丁目印地

北砂5丁目印地、中国、外国での交流のチャンス

大島小松川公園

大島小松川公園

千本桜が肉眼で。砂町花火の観覧がpossible

その他

なかなか地元では課題と魅力感じにくい

河川に隣接する自転車道

自転車での移動が便利：河川の両岸にある道が多いことから自転車道として安全通行できる専用道路を整備することでよい。歩行者との衝突事故なども減らせる

自転車道ネットワーク環境の整備 魅力2のネットワークをベースに、さらに自転車でも移動しやすい環境整備（高低差のない地形を利用した近接移動手段の確保）

自転車でも安全に通れるまちづくり（バリアフリー化が進んでいる）2センチの段差は車椅子でも通りにくい

砂町銀座商店街の中を自転車が通り、高齢者や子供たちと錯綜している

南北間の交通がバスや自転車以外に無い：地下鉄の計画もないままですが、以前に区長が言っていたアリオ北砂橋なども予断や用地などの問題があるは延長して計画するのが良いと考えています

八幡通りに抜ける一方通行道路など

路地を歩きやすく。歩道と車道、無電柱化必要八幡通り、抜ける一方通行道路、車道幅4mの中に大きな電柱が約40本あり、歩行者が交差する東西に抜けるのが安全確保

魅力	課題	・黒字：事前意見・赤字：当面意見
場所名	大島地区	場所名 砂町地区 場所名 大島・砂町共通

■第1回ワークシート（書面開催） 「自分たちのまちの魅力を課題を考えよう」 城東南部地区 結果まとめ

■城東南部地区

・小名木川（塩の道、クローバー橋）：川沿いに楠木や四季折々の花が咲き、景観がとても良く、ウォーキング、ジョギングに最適なところ

・砂町文化センター：併入石田波響の記念館をはじめ、レクホールや研究室、催しに利用できる

・南砂二丁目住宅：周りを緑道に囲まれて桜並木もあり、小学生がマラソンをしている姿をよく見かける

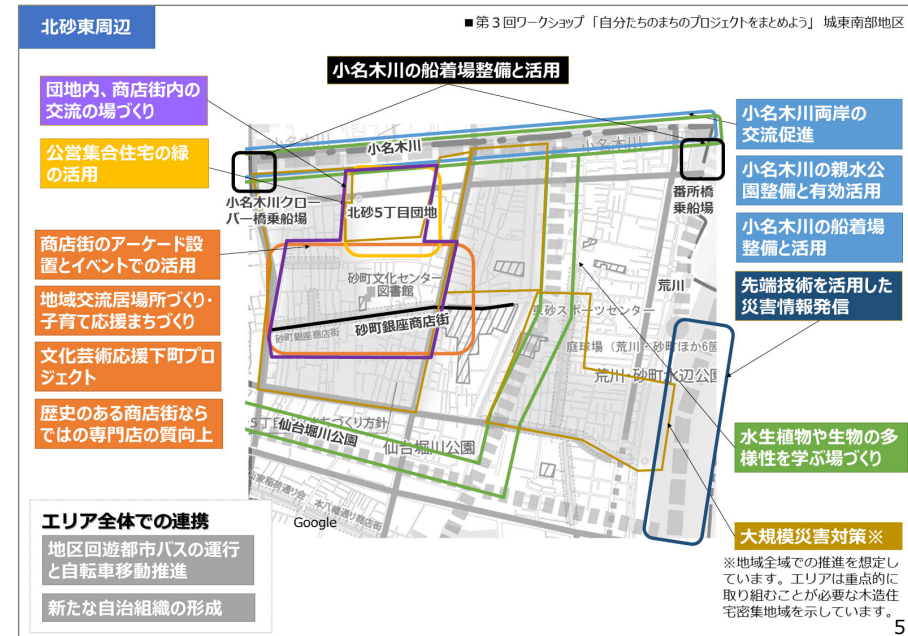
・大家さんが手入れをしているから老朽化は進んでいない

・今はコロナですが、毎年夏まつりに大勢の人が集いにぎわいます

・中には保育園、幼稚園、小学校、中学校、35の商店、スーパー、銀行、病院、郵便局。安全安心の暮らしができます。また、お年寄りにも優しいまちです

北砂区周辺		■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまともよう」 城東南部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見
将来イメージ案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組
安全安心で交通利便性の高い暮らし中心のまち	- 暮らし優先の地域社会の形成 20年後、住みやすい街、防災の観点で課題を解決し安全に暮らせるまち - 地域の人々が、安心した往来できる交通規制の共感	地区回遊都市バスの運行と自転車移動推進：コミュニティバスを頻繁に運行。コミュニティバスについては区に意見陳述している（6m道路にバスを走らせてほしい） 広場同士を結ぶコミュニティバスを走らせたい。+ 城東南部地区は住宅地が中心。安全安心で暮らしやすい施設や交通も考えていけべき。地区の回遊都市バス（コミュニティバス）が脆弱。自転車の移動の推進と合わせてやっていくことが重要。バスに自転車を載せられるようなこともあっても良い。 大規模災害対策：防災まちづくり、水害時の避難対策（安全な避難場所の確保・避難訓練等）発災時に垂直避難できるビル等を確保しておく（協定締結等）とともに、避難経路の確認、避難訓練等を実施/道路幅員幅4m未満の道路、行き止まり道路の整備、不燃化の促進+荒川の大规模災害対策は重要。どこにどう避難するのか。団地も含めて、災害時に垂直避難場所として協力いいただけの建築物と提携・連携して避難訓練なども日頃から取り組んでいくことが重要 先端技術を活用した災害情報発信：先端技術を活用した江東区の良いところ、改善したいところを上手く情報発信していけると良い。区外も含めて情報発信できないか。良いところをPRする手段としてドローンを活用できると面白い。災害時にも役に立つ。荒川の水面上昇度や住民に発信する等、活用方法をみなさんで知恵出せできると面白い。 小名木川の船着場整備と活用：小名木川と明治通りの交差点に船着き場を提案+（「防災船着場を活用し、日常から非日常に備える仕組みが整つまち」の意見より）

北砂東周辺		■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまよめよう」 城南南部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見＋書面意見 紫字：OH意見
将来イメージ 案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組
水辺と個性ある商店街、団地などの連携によるにぎわいと交流が絶えないまち	- 孤独死や、孤独の子育てによる虐待事件を生まない、気軽に声かけあえるまち - 個性ある専門店が集まり、交流が活発な商店街 - 交流の場が豊富なまち - 小名木川兩岸の交流の活性化	小名木川兩岸の交流促進：交通橋を利用した小名木川兩岸の交流 公営集合住宅の緑の活用：イベント広場として提供、外国人などの異文化交流 地域交流店舗まつり／子育て応援まつり：砂町銀座商店街、多世代交流店場づくり、地域包括支援センターの拡充(子ども支援センター含む)。集合住宅と戸建て住宅をつなぐコミュニティづくり、子育てに優しいまちづくり(世代間交流含む)を行政の共同事業で推進 歴史のある商店街ならではの専門店の質向上：大型店では買えないような専門店が集まる商店街＋住宅地の魅力が力として賣い物の要素は重要(砂町銀座商店街の資源)。地域の特色を持った専門店が活気づく地域の特徴が出てくる。さまざまな資源など、長所を伸ばしていくことができることと良い。 文化芸術広場下町プロジェクト：地域住民の暮らしを応援する商店街、起業支援を盛んにし商店街の抱い手を次世代移行、テナント料の支援、コミュニティ空間の整備、道路の安全整備、困り事何でも相談会の定期開催、地域の資源を担当する人材活用の交流(文化・教育・福祉・その他事業者の協同開催) 商店街のアーケード設置とイベントでの活用：アーケードのある商店街として、オープンカフェや地域交流イベント開催、商店街の資源活用 団地内、商店街内の交流の場づくり：公園の広場を活用した交流広場を団地とURで企画出来ると輪が広がる／規模の大きい店舗が出た際に人が集まる広場が出来るとよい／商店街の中に交流できる広場があるとよい。 団地内敷地の開放と有効活用：南砂団地は敷地が広い。もう少し開けたエリアとして来街者も来るような街になると良い。 新たな自治組織の形成：点から面の支援ネットワークの構築。町会に代わる新しい自治組織の形成 小名木川の親水公園整備と有効活用：堅川は川をイメージした公園づくりだが、小名木川はまだ干り堤防。親水公園としてもっと水辺に親しめるように整備できるとよい 水生植物や生物の多様性を学ぶ場づくり：仙台園川公園、清洲橋から小名木川は水辺(公園内に池など)があり、水生植物や生物の多様性を学ぶ場にする子どもを含めた交流の場として活用可能。他の公園に無い魅力的な個性を打ち出せる。
水辺と緑が身近に感じられ、生物多様性が保全されるまち	水辺と緑の資源を活用した、水生植物や生物の多様性を学ぶ場が豊富なまち	



■第3回 自分のまちのプロジェクトをまとめよう

城東南部地区の将来ビジョン案（WS最終案）

ワークショップを通じ検討した2エリアの地区別将来ビジョンに基づき、城東南部地区全体の将来ビジョン案をとりまとめました。ビジョン案は今後、行政と調整し表現を精査する予定です。

安全安心で交通と暮らしの利便性が高く、特色ある商業や水辺と緑の資源を活かしてコミュニティを育み交流が絶えないまち

エリア	エリア別の将来ビジョン案
北砂東周辺	- 安全安心で交通利便性の高い暮らし中心のまち - 水辺と個性ある商店街、団地などの連携によるにぎわいと交流が絶えないまち - 水辺と緑が身近に感じられ、生物多様性が保全されるまち
南砂	- 団地と商店街、歴史資源が融合し、新たなにぎわいが創出されるまち - 水辺と緑が身近に感じられ、生物多様性が保全されるまち

1

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東南部地区

※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加

安全安心で交通と暮らしの利便性が高く、特色ある商業や水辺と緑の資源を活かしてコミュニティを育み交流が絶えないまち

第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。

カテゴリ	意見
公園、水と緑 まちの魅力	仙台堀川公園からつながる緑道を活かす。+仙台堀川公園は東西の交流の重要なポイント。緑の多様性の学びの場にもなる。+水と緑のネットワークをはじめ、長所となる資源がある。
商店街	- 砂町商店街以外は大きな商店街がなく、周辺は住宅地なのでその周辺で起爆剤となることが作れるとよい。 - 砂町商店街を基軸に北砂まで総合的に見た方がよい。周辺の住宅との連携。銀座通りと団地の広場がつながりイベント等を行い、戸建ても巻き込むことで交流が生まれる。 - 町会や商店会等の基礎的な組織があるので、それぞれの組織の出会いを作っていく。
コミュニティ・交流 団地	- 下町の戸建て住宅と新しいマンション等の住民のつながり - 子育て世代に優しいまちを柱に商店街や団地、昔からのコミュニティを上手に繋げていく。 - 豊かなコミュニティをつくるのが孤独死や虐待等の社会課題の解決にもつながる。 - 団地内敷地の開放と有効活用；南砂団地は敷地が広い。もう少し開けたエリアとして来街者も来るような街になると良い。
安心安全	安全安心や利便性等は若い世代が住む動機にもなる。
情報発信 防災	先端技術を活用した江東区の良いところ、改善したいところを上手く情報発信していけると良い。区外も含めて情報発信できないか。良いところをPRする手段として、ドローンを活用できると面白い。災害時にも役に立つ。荒川の水面上昇度を住民に発信する等、活用方法をみなさんと知恵出しできると面白い。
多様性 交流	国際交流；インド系の方も多く、国際交流もある。海外の方も含めた交流の拠点があると特色ある要素になる。
交通利便性	南砂は交通の便が悪い。大島からだ自転車で行く。木場から南砂を通って南北の交通を通してもらえ、利便性が高くなる。永代通りから区役所に向かうバスは多いが、南側（夢の島あたり）まで行くバスは本数も少なく、自転車や車しかない。

3

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 城東南部地区

※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加

城東南部地区の将来ビジョン（WS最終案）

安全安心で交通と暮らしの利便性が高く、特色ある商業や水辺と緑の資源を活かしてコミュニティを育み交流が絶えないまち

エリア	エリア別の将来ビジョン案
北砂東周辺	- 安全安心で交通利便性の高い暮らし中心のまち - 水辺と個性ある商店街、団地などの連携によるにぎわいと交流が絶えないまち - 水辺と緑が身近に感じられ、生物多様性が保全されるまち
南砂※	- 団地と商店街、歴史資源が融合し、新たなにぎわいが創出されるまち - 水辺と緑が身近に感じられ、生物多様性が保全されるまち

※南砂については、第2回WSでは議論できませんでしたが、第1回WSのご意見や第2回WSの書面意見などを参考に、事務局で将来イメージ案を作成しています。

2